

都市再生整備計画(第1回変更)

かなやまえきしゅうへん
金山駅周辺地区

あいち なごやし
愛知県 名古屋市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォークابل推進事業	☒

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	名古屋市	地区名	金山駅周辺地区	面積	157	ha
計画期間	令和5年度	～	令和20年度	交付期間	令和5年度	～	令和20年度	

目標
大目標：にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり 目標1：地区全体でにぎわいを創出し、ウォーカブルなまちの形成を図る。 目標2：交通結節点である金山のポテンシャルを活用し、駅前に都市機能を集積させ、賑わいや交流の更なる発展を図る。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 金山駅周辺地区（以下、当地区）は、名古屋城と熱田神宮を結ぶ中間に位置し、名古屋駅地区・栄地区に次ぐ名古屋市の拠点のひとつである。JR・名鉄・地下鉄が乗り入れる金山総合駅を有し、一日の乗降客数が中部圏で名古屋駅に次いで2番目となる交通結節点となっている。 ・駅南地区においては、地域のランドマークとして、まちづくりのシンクタンク機能を有する名古屋都市センターやホテルが入る金山南ビル（平成11年）を整備した。 ・駅北地区は、まちづくりの進捗や社会情勢を踏まえた段階的な整備を行うこととし、その第1段階として、愛・地球博（平成17年）の開催に合わせ、交通ターミナル（バスターミナル・駐車場・駐輪場・タクシー乗り場等）を整備するとともに、広場と商業施設が一体となった交流の場「アスナル金山」を整備した。地区のポテンシャルを向上させ、南地区との一体性を図るとともに、地域のにぎわいをより一層高める役割を果たしている。 ・一方、駅前の開発から数十年が経過し、名古屋市民会館をはじめとする公共施設の老朽化や大規模災害に備えた防災対策の強化、また周辺ビルの建替えなどの機能更新が進んでおらず、高い指定容積率を有効活用できていないなど多様な課題が顕在化している。リニア中央新幹線の開業を見据え、金山地区の拠点性をさらに強化すべく平成29年3月には「金山駅周辺まちづくり構想」を策定し、名古屋市の南の玄関口としてふさわしい地区とするためのまちづくりを進めている。 ・公益財団法人名古屋まちづくり公社は、都市基盤の整備等を通じて名古屋市のまちづくりに寄与することを目的として設立され、令和3年度には、名古屋市より都市再生推進法人の指定を受けている。駅南側にある金山南ビルは公社が建設・所有をしており、ビル内において名古屋都市センターを運営している。また、金山総合駅連絡通路橋の管理や、駅北側においても、アスナル金山を運営しており、地区の連続した賑わいの創出と地域団体と連携した環境整備などに取り組んできた。

課題
・交通結節点としてのポテンシャルがあるものの乗換客や来街者の行動範囲は広がり不足、都市機能の効果的な集積によるにぎわい・交流の発展、回遊性向上に取り組む必要がある。 ・駅周辺の指定容積率に対し、街区別の容積充足率が少なく、土地の高度利用が十分にされていない。 ・駅周辺建物の老朽化の問題を抱える中、建て替え等の機能更新が進んでいない。 ・鉄道により地域が南北に分断されているため、地元団体や住民が一体となった取組みを進め地域間の連携の強化を図る必要がある。 ・大規模地震や大雨など災害時における帰宅困難者対策は喫緊の課題であり、防災力の強化に向けた早急な対応が求められる。
将来ビジョン（中長期） ①名古屋市長計画2023（2019－2023）（令和元年度策定） ・強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、環境と調和した都市機能の強化 ・リニア中央新幹線開業に向けた都心の魅力づくり ②名古屋市長計画マスタープラン2030（令和2年度策定） 重点的なまちづくりの展開 ・にぎわいのうらおいの継承とさらなる発展 ・文化芸術や創造拠点としての取り組みを、個性的で創造的なまちづくりとして展開 ・防災力の強化による地域のポテンシャルの向上 ・交通結節点としての機能強化による拠点性の向上 ③金山駅周辺まちづくり構想（平成28年度策定） コンセプト 交通拠点から交流拠点へ ～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～ （1）にぎわいとらうおいの継承・発展 （2）文化芸術や創造等拠点の集客性向上 （3）地域防災力の強化 （4）交通結節点の機能強化

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
金山駅乗降客数	人／日	JR・名鉄・地下鉄利用の乗降客数	魅力ある滞留空間・交流拠点の創出による来街者等の増加	377,691人/日	R3年度	550,000人/日	R20年度
イベント開催数	回	金山総合駅連絡橋におけるイベントの開催数	イベント実施によるにぎわいのある駅空間の創出	203日/年	R3年度	300日/年	R20年度
駅周辺の容積充足率	%	構想等範囲の容積充足率	にぎわいの創出や都市機能の集積による土地の高度利用化	55.34%	R3年度	60.00%	R20年度

計画区域の整備方針 〔地区全体でにぎわいを創出しウォーカブルなまちの形成を図る〕 〔交通結節点である金山のポテンシャルを活用し、駅前に都市機能を集積させ、賑わいや交流の更なる発展を図る〕 ・地域と連携した公共空間の整備や利活用によるまちの魅力発信や賑わいの創出 ・大規模地震や大雨など災害時における交通結節点としての災害対応やレジリエンスの向上	方針に合致する主要な事業 【協定制度等】 都市利便増進協定 ・日常の維持管理業務に加えた高所部(天井トラス)の定期清掃 ・広告媒体を活用した災害時等の情報発信、災害対策の啓発 ・広告媒体や催事スペースを活用した地域情報の発信や地域イベント等の実施支援 ・駅周辺地区の広場、路面等の清掃や美化活動
その他 ○金山地区まちづくりビジョン(公益財団法人名古屋まちづくり公社) 地域の意向を反映し、都市再生推進法人として住民や事業者など地域と連携したまちづくりを推進するための将来ビジョンを策定(2022年1月) 【金山の将来像(目指すべきまちの姿)】 Playable KANAYAMA ～みんなが主役になるまち～ 【まちづくりの方向性】 ①心地よく回遊できるまちづくり…多くの人が行き交う駅と街をつないで、街の魅力と賑わいをもたらす、回遊性のあるまちづくりを進める。 ②多様な空間を活かしてチャレンジできるまちづくり…公共空間及び各施設空間の活用により、様々な表現や発信などチャレンジができるまちづくりを進める。 ③多様な文化に触れられるまちづくり…ハイカルチャーな文化から、街角ライブで繰り上げられるストリートカルチャーまで、多様で層の厚い文化を育むまちづくりを進める。 ④都心で便利に安心して過ごせるまちづくり…都心でありながら住む人や来訪者が便利で安心して過ごすことができる都心のまちづくりを進める。	

協定制度等の取り組み

官民連携によるエリアマネジメント方針等

[illegible]

制度別詳細4(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項

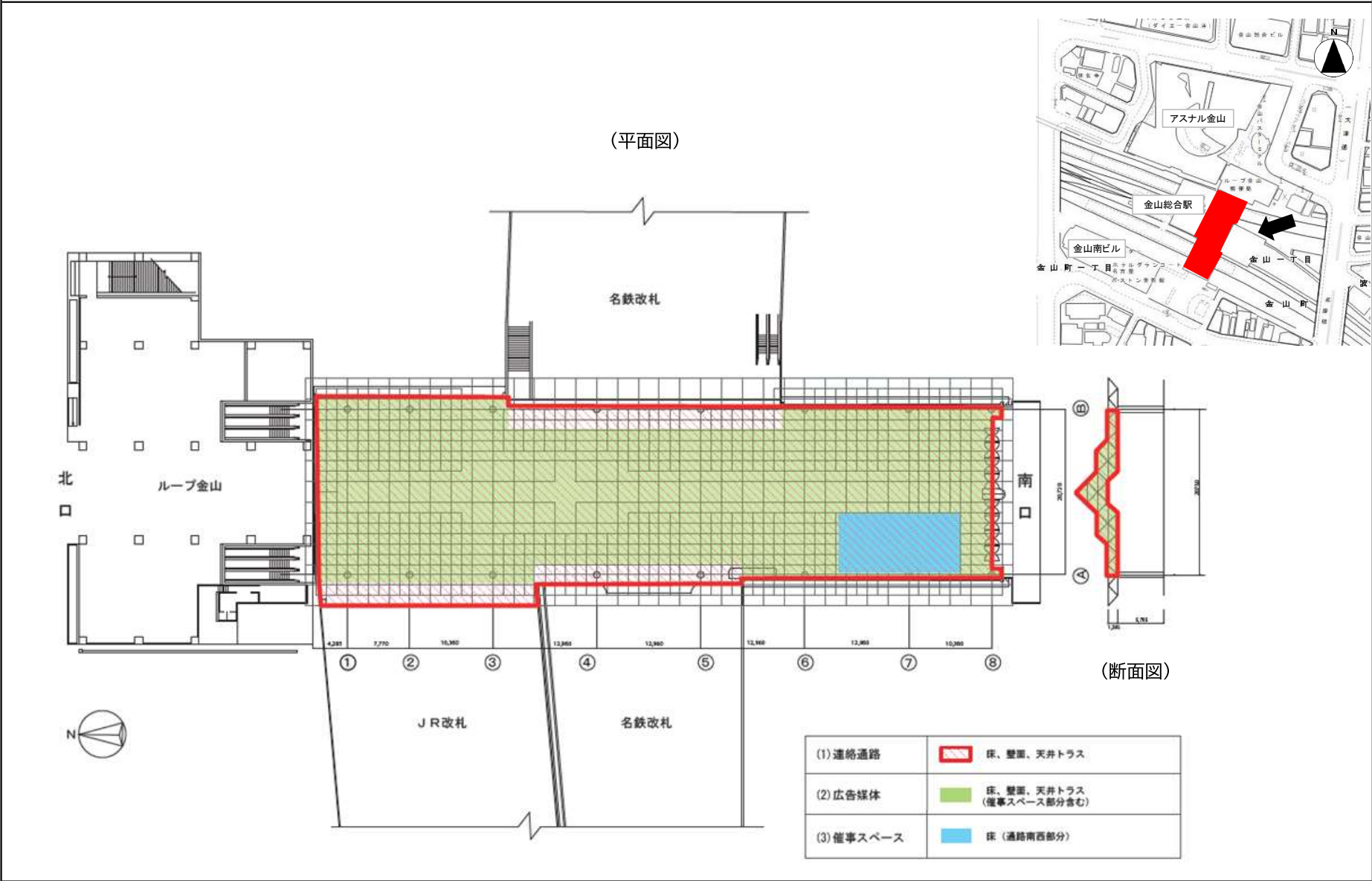
制度別詳細【都市利便増進協定】				
制度の活用計画				
事業内容		事業期間	取り組み主体	活用する制度の詳細
1	連絡通路の総括管理、点検、警備、軽微な修繕	R5～R20	公益財団法人名古屋まちづくり公社 (都市再生推進法人)及び名古屋市	1. 協定締結者 公益財団法人名古屋まちづくり公社(都市再生整備推進法人)、地権者等(東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、名古屋市(高速度鉄道事業者))及び名古屋市 2. 都市利便施設の一体的な整備又は管理が必要と認められる区域(制度詳細4-1の赤色に示す範囲) 3. 協定の内容 (1)協定の目的となる都市利便増進施設 ・連絡通路 ・広告媒体 ・催事スペース (2)費用負担 公益財団法人名古屋まちづくり公社が、連絡通路橋の維持管理、広告事業及びイベント広場の運営等を実施する。(連絡通路の維持管理費は名古屋市負担) (3)都市利便増進施設の管理・整備の方法 公益財団法人名古屋まちづくり公社が、連絡通路橋の維持管理を実施するとともに、広告事業及びイベント広場の運営等による収益の一部を、以下の環境整備へ還元する。 ・日常の維持管理業務に加えた高所部(天井トラス)の定期清掃 ・広告媒体を活用した災害時等の情報発信、災害対策の啓発 ・広告媒体や催事スペースを活用した地域情報の発信や地域イベント等の実施支援 ・駅周辺地区の広場、路面等の清掃や美化活動
2	催事スペース(イベント広場等)の整備・管理	R5～R20	公益財団法人名古屋まちづくり公社 (都市再生推進法人)	
3	広告媒体の整備・管理	R5～R20	公益財団法人名古屋まちづくり公社 (都市再生推進法人)	
4				
5				

制度別詳細4-1(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項

事業番号1, 2, 3

制度別詳細【都市利便増進協定】

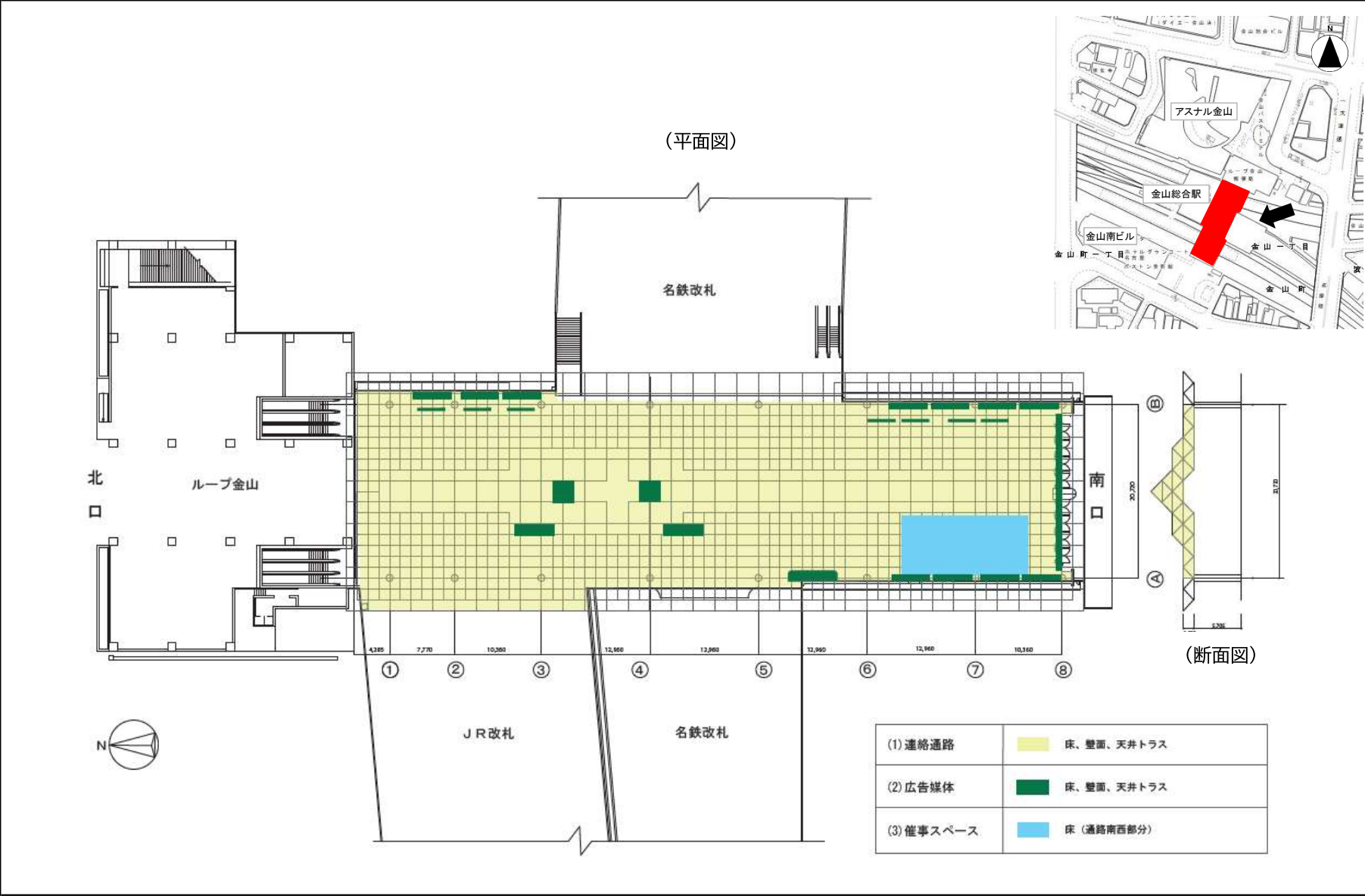
制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ



制度別詳細4-1(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項
事業番号1, 2, 3

制度別詳細【都市利便増進協定】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ



制度別詳細4-2(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項 事業番号1, 2, 3

制度別詳細【都市利便増進協定】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ



連絡通路(床、壁面、天井トラス)



催事スペース



広告媒体



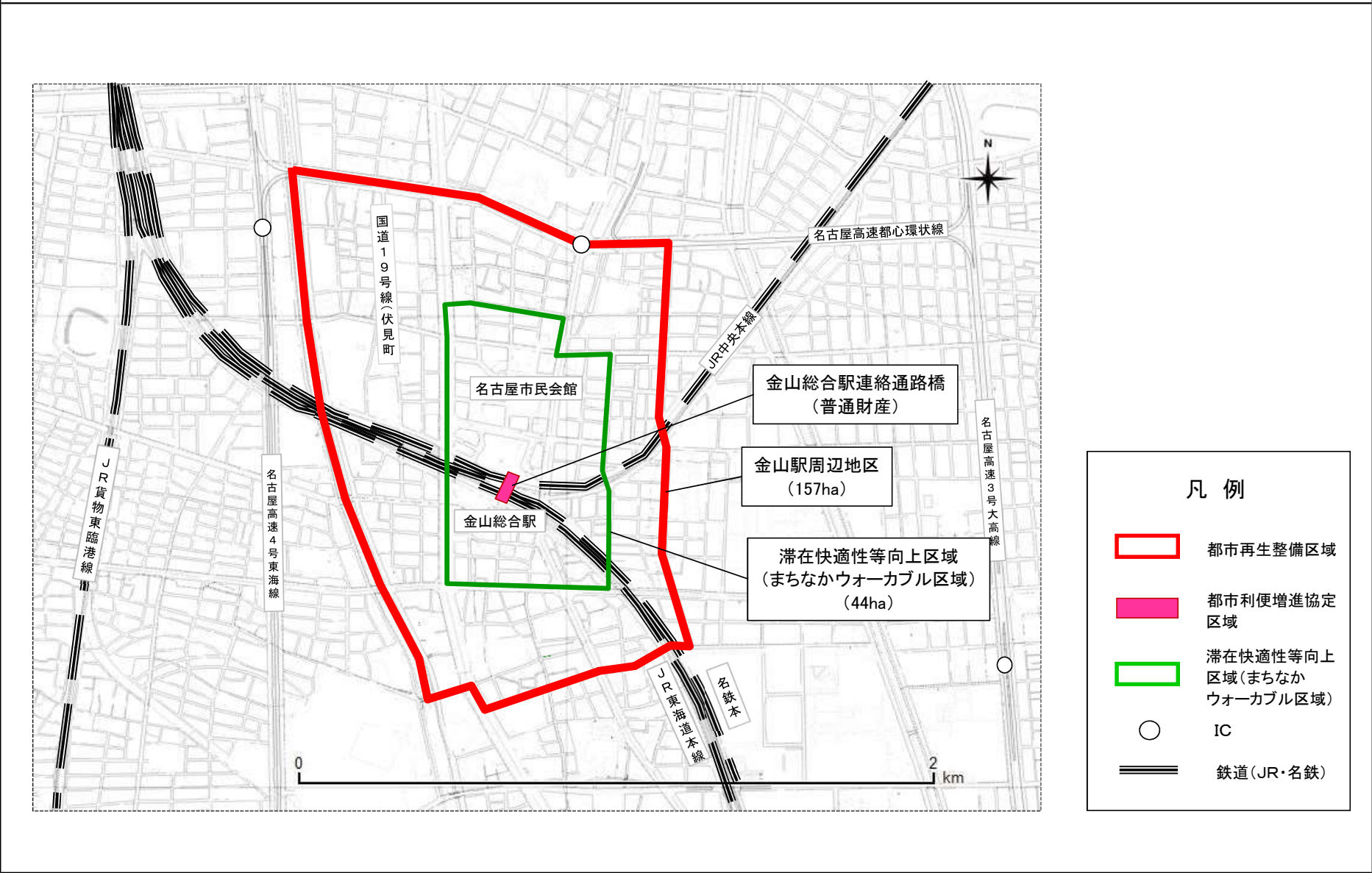
制度別詳細14(普通財産の活用)法第46条第14項第4号

[illegible]

制度別詳細14-1(普通財産の活用)法第46条第14項第4号
事業番号1

制度別詳細【普通財産の活用】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ

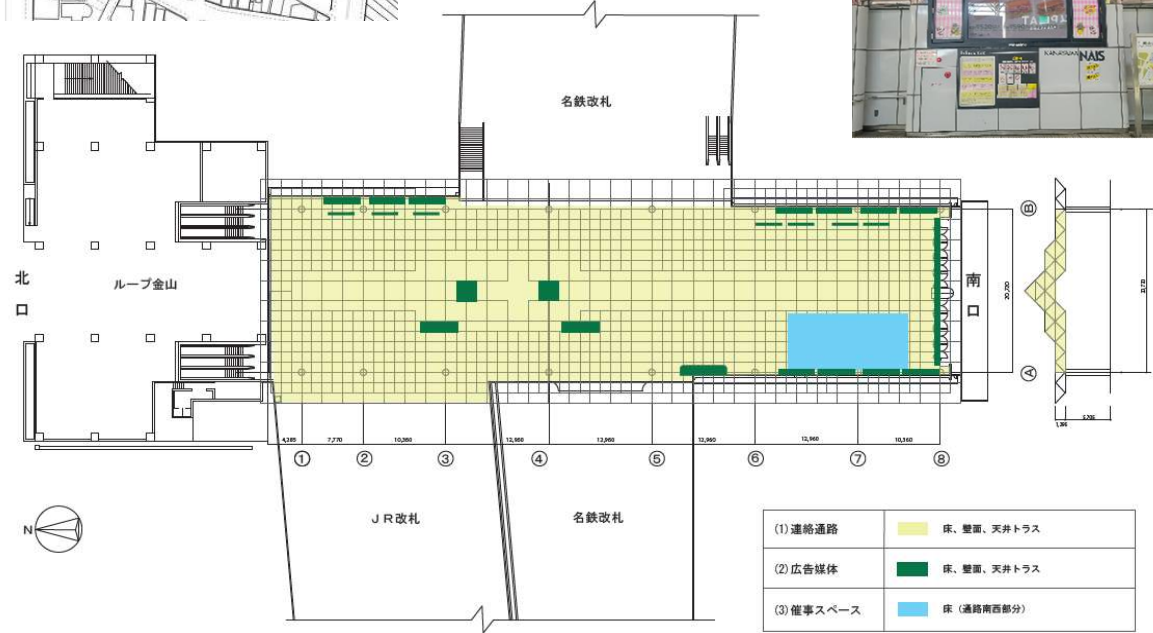
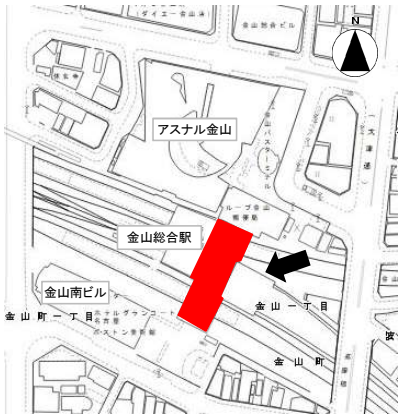


制度別詳細14-2(普通財産の活用)法第46条第14項第4号

事業番号1

制度別詳細【普通財産の活用】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ



連絡通路(床、壁面、天井トラス)



催事スペース



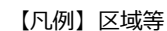
広告媒体(映像装置)



広告媒体



面積	157	ha	区域	名古屋市中区・熱田区の一部
----	-----	----	----	---------------



-  都市再生整備区域
 -  滞在快適性等向上区域
(まちなかウォーカブル区域)
 -  都市機能誘導区域
 -  居住誘導区域
 -  鉄道（ＪＲ）
 -  鉄道（私鉄）

【凡例】 用途地域

-  第1種低層住居専用地域
 第2種低層住居専用地域
 第1種中高層住居専用地域
 第2種中高層住居専用地域
 第1種住居地域
 第2種住居地域
 準住居地域
 近隣商業地域
 商業地域
 準工業地域
 工業地域
 工業専用地域
 市街化調整区域
 都市計画道路
 区分線(道路などの中心)

金山地区(愛知県名古屋市) 整備方針概要図

目標	大目標：にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり 目標1：地域住民とともに地区全体でにぎわいを創出しウォーカブルなまちの形成を図る。 目標2：交通結節点である金山のポテンシャルを活用し、駅前に都市機能を集積させ、賑わいや交流の更なる発展を図る。	代表的な指標	金山駅乗降客数	人／日	377,691人／日	R3年度 →	550,000人／日	R20年度
			イベント開催数	回	203日／年	R3年度 →	300日／年	R20年度
			駅周辺の容積充足率	%	55.34%	R3年度 →	60.00%	R20年度



凡 例

- 都市再生整備区域
- 都市利便増進協定区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 構想等範囲
- 滞在快適性等向上区域 (まちなかウォーカブル区域)
- IC
- 鉄道(JR・名鉄)